

東 都 大 学

図 書 館 通 信

幕張キャンパス 第18号

【編集】幕張分館司書 菱村宏子

図書館員…宮内夏子・神崎敦子・川島伊吹

【編集協力】幕張分館図書館運営委員会

理学療法学科…小久保博樹(図書館長)

看護学科……川野英子・井波千穂子

臨床工学科……山下知子

健康科学科……廣瀬永子

館長 ◆ ひとりごと

理学療法学科 小久保博樹

昨年、村上春樹の新作が6年ぶりに刊行された。手に取られた方はいるだろうか。私は、新刊が出るのを楽しみにしているファンの1人である。しかし、彼の作品をすぐに好きになった訳ではない。ファンになるには、数年を要した。今回はその頃を懐かしんで、彼の作品との出会い、心の変化について触れてみたい。

最初の出会いは、大学に通う途中にある書店の店頭で積み上げられていた赤と緑の装丁で包まれた『ノルウェイの森』だった。純文学であるにもかかわらずビジュアルのインパクトは相当なもので、ニュースでも取り上げられた。私は興味本位で購入したのだが、読み始めて間もなく頓挫した。親友の死。自分の恋人の死を目の当たりにして病む彼女。そして、その彼女に振り回される主人公。登場人物やストーリー全体に流れる雰囲気がとても暗く、当時は受け入れられなかった。

再びこの本を手にしたのは大学院の最終学年で、期限内に学位申請が間に合うか気に病むことが多くなって、学位のことを考えない時間を持つようになったのがきっかけだった。当時の心境と作品の雰囲気が合ったのか、以前の拒絶感が嘘のようにすんなりと読み進めることができた。読み終えて、爽快な気分になった。



村上春樹『ノルウェイの森』(上)・(下) 講談社文庫, 2004年

この作品の中核となるのが、「死は生の対極としてではなく、その一部として存在している」という一文であろう。解釈はそれぞれあると思うが、当時の私には、対極にあるように思えることも、結局、時間が解決してくれる、見方を変えれば結局他愛のないことなのだと、妙に納得できた。そして「このまま頑張り続ければ、いずれ学位も取れる」と思った。プレッシャーから私の心は解放され、無事、期間内に学位を取得することができた。この体験をきっかけに、彼の全ての作品に目を通した。適当に開いたところから読み始めては思い返す、今でもそんな風に彼の作品に触れている。

文学作品に触れるということは、作者の描いた物語の世界を自分なりに想像して、現実の自分とは違う性格の登場人物となって生きることだと思う。この想像上の体験が、現実の悩みや課題を解決するためのヒントや、実行に移すもしくは思いとどまるための勇気を与えてくれる。だから皆さんには、読書を通してそんな経験を数多くしてもらいたいと願っている。誰かの想像の産物である映像コンテンツを見聴きするのではなく、読書という独自の想像の翼を自らの頭の中で広げてみてはいかがだろうか。

図書館 特集展示：夏休み！本屋大賞受賞作品を読もう

図書館員 宮内夏子

忙しい方も、時間に余裕がある方も、この夏に小説はいかがですか？

今回は、2024年度の本屋大賞ベスト10、そして歴代の1位や図書館員イチオシの作品をピックアップしました。

どの本も魅力的なキャラクター、わくわくする設定、衝撃の展開に一気に読み間違いなし！日常とはちょっと違う世界に浸って、気分転換しちゃってください😊



おススメ～その1 恋愛気分にとっぷり浸りたい時に...

『汝、星のごとく』

夕方の瀬戸内海に浮かぶ、金色の一番星のような存在。で、あり続けることができるのか。

17歳で出会った暁海と權の、約15年間で描かれたお話。

環境が変われば共通の話題も減るし、成功したらお金も取り巻きも増える。好きな人はずなのに一緒にいるとあくびがでちゃう。傲慢さにうんざりする。それでも、優しい人達はどうしても傷づいてしまうから、このふたりがいられるところまで一緒にいられるよう、最後まで祈りながらページをめくってしまう。



風良ゆう『汝、星のごとく』
講談社、2022年

おススメ～その2 誰かに背中を押してほしい時に...

『かがみの孤城』

最初のページを読んで心臓がドキッとした。「え、なんで分かるの？」って。

自分のクラスにスーパー転校生が来て、その子は昔仲良くしていた子で、みんなが憧れの眼差しを向ける中、自分がその子に親友として選ばれるという妄想である。主人公のころも、そんな奇跡を願ってしまうひきこもり中の中学1年生である。

ある日突然、かがみの孤城に招待された、7人の子どもたち。“オオカミさま”によると、願いの部屋を見つけて、願いを叶えられるのはたった1人。ファンタジーの世界なのに、一人ひとりのどうにもできない現実が、リアルに迫ってくる。辻村深月はやっぱりすごい！



辻村深月『かがみの孤城』
ポプラ社、2017年

予告

9月下旬からの 特集展示

～ 医療・福祉関連のお仕事紹介 ～

医療・福祉関連に携わる仕事は多岐にわたります。その現場で働く人たち、現場で使われるものを生み出す人たち、支える人たち等。例えば、手話通訳士、点字フォント発明家、義肢装具士、ケースワーカー、薬剤師に創薬研究者…。聞いたことはあるけど、具体的には分からない。「えっ何それ？」という初耳のものもあるかもしれません。

9月下旬からの図書館特集展示では、医療・福祉関連のお仕事を紹介します。皆さんの卒業後の姿、一緒に働く仲間の姿が見つかるかもしれません！

